

# 令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

## 白川村青少年育成村民会議

令和7年度活動の重点

「ひととのかかわりを深めよう」

- ①互いの良さを見つめ合う「あったかい言葉がけ」活動の実践
- ②地域で地域の子を見守る安心安全対策（青少年育成推進委員会の実施）

### 「あったかい言葉がけ」活動の実施

白川村では毎年、7～9月に全村民を対象とした「あったかい言葉かけ一行詩」「あったか川柳」の募集を行っております。取り組み始めた当初は、家族の絆やあったかい家族のつながりを目的とした、子から親へ、親から子への一行詩を募集していました。その後、「地域で地域の子を育む」ことや、「地域のつながりを深める」ことにも着目することで、現在のような全村民を対象とした取り組みへと変化してきました。白川郷学園がコミュニティ・スクールとなってからは、より一層地域のなかでの担い手育て活動が活発になり、子どもたちの登下校時のふれあい活動や、夏休みの子ども会活動であるラジオ体操などにも多くの地域の方が参加され、地域の大人と子どもたちとのかかわりの場が増えてきました。それにより、あったかい言葉かけ一行詩やあったか川柳の作品にも、地域のつながりを感じる作品が増え、より一層あたたかさを感じる事ができています。

これらの作品は、家族部門を青少年育成推進委員会が、地域部門を社会教育委員会が審査し、あったか大賞として紹介をしています。今までは、広報紙で紹介するのみでしたが、ポケットティッシュに入れる作品紹介カードを手作りし、様々な場面で啓発活動をしていきます。

作品の紹介 令和7年度募集作品より 家族・地域各部門のあったか大賞を紹介

じいちゃんとはあちゃんへ

いつもがっこうにいくときに、みおくってくれてありがとう。

いってこいよがちからになるよ。ながいきしてね。 （2年生 児童）

庄川漁業協同組合さんへ

鮎の友釣り楽しませてもらっています。いつも釣れるともう1匹、1匹、釣ると思ってやめられないです。中高生鮎友釣り選手権10、優勝して帰ってきます。いつもありがとう。 （7年生 生徒）

### 地域で地域の子を見守る安心安全対策

白川村生徒指導部会との合同会議は、青少年育成推進委員会と共に学校の生徒指導担当、保育園、駐在所の警察官で構成しており、子ども達の生活の様子などを各々の立場から情報共有を行っています。昨年度まで、7月、12月、3月の生徒・児童の長期休暇時と9月～10月の祭礼前にこの会議を行っていましたが、内容の固定化（形骸化）や委員の負担軽減の協議がされ、今年度より年2回（7月・12月）に変更し、12月の会議開催前には、『地域のなかの子ども達の様子』の意見募集を区長会を通じて全世帯に行い、効率的な情報共有ネットワークの構築についてチャレンジングな一年となりました。